

## 生活環境におけるにおい評価

においの質や強さを数値化できるにおい識別装置を使って、サンプル間の比較やクレーム品のおいへの強さの違いを客観的に評価することができます。

### 本技術の内容・特徴

#### □衣料用柔軟仕上げ剤（柔軟剤）の評価

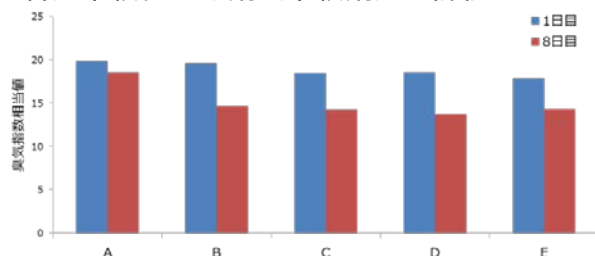


図 1. タオルに付加したにおいの強さの比較

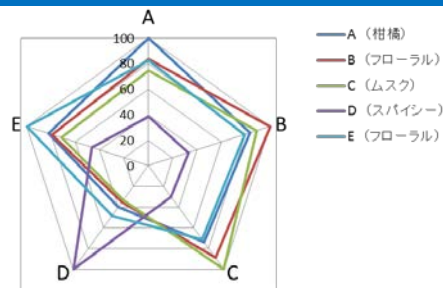


図 2. 柔軟剤同士のおいへの質の比較

タオルに付加するにおいの強さの違いにおいへの持続性を評価可能。また、においへの質を比較することで類似性や特徴性の視覚化が可能

#### □官能検査との相関性

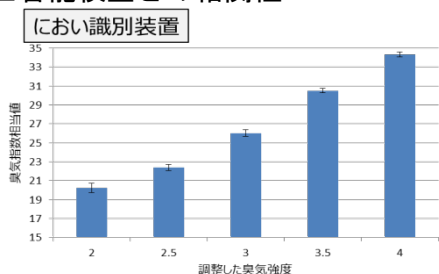


図 3. 酢酸エチルを使ったにおい識別装置と官能検査のおいへの強さの比較

におい識別装置と官能検査のおい強度に関する相関性を確認  
↓  
官能検査に類似した測定結果が得られる可能性を示唆

### 従来技術に比べての優位性

- 1 おいを複合臭のまま評価でき、人間の感覚（嗅覚）に類似した測定結果が取得可能
- 2 模擬臭を使って製品の消臭性機能の評価が可能（ISOに準拠）
- 3 官能検査に比べて測定手順が簡易的

### 予想される効果・応用分野

- 1 サンプル間のおいへの違いを可視化
- 2 製品の付加価値の評価が可能

### 提供できる支援方法

- 技術相談
- 依頼試験
- 機器利用
- オーダーメイド開発支援

### 知財関連の状況、文献・資料

#### ➤ 文献資料

- [1] 佐々木：平成26年都産技研研究成果発表会要旨集 p.72  
<https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/3660.pdf>
- [2] 佐々木：平成28年度第29回においかおり環境学会要旨集 p.97

所属：生活技術開発セクター <墨田支所>  
担当：佐々木 直里

TEL：03-3624-3731  
E-mail：sasaki.naori@iri-tokyo.jp